

身近な場所での砂防事業

～神戸学院大学附属高等学校 出前講座～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

神戸学院大学附属高等学校の1年生のみなさんに、総合学習「環境と防災を考える」の一環として、六甲山地での過去の災害や現在の砂防事業の取り組みについての講義、模型による土石流実験を行いました。

概要

日時:平成26年6月26日(木)
14:00～15:30

場所:神戸学院大学附属高等学校
主催:神戸学院大学附属高等学校
参加人数:17名



○六甲山地の砂防事業の取り組みと、土砂災害への備えについて説明

身近にある緑豊かな六甲山地は、その地形や地質条件から、古くから土砂災害が発生しており、神戸・阪神間の街は、たびたび被害を受けてきたことを説明しました。また、阪神大水害(昭和13年)をきっかけとして、土石流から街を守るために砂防えん堤の整備を始めたことや、地形に合わせて重力式



やスリット式の砂防えん堤の整備を行っていることなどを説明するとともに、模型を使った土石流実験で砂防えん堤の仕組みを見ていただきました。

最近多い「今までにない規模の大雨」などが六甲山地で降れば、土砂災害が起こる可能性があります。日頃から土砂災害警戒情報に注意し、早めに避難していただくようお願いしました。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL: 078-851-0535

